

みんな、かがやく

# 幼稚園の取組

# 平久幼稚園

## 園児と5年生との交流

### 取組内容

併設園のよさを生かし、平久小学校5年生と**交流活動**を行っています。

年間を通して交流を積み重ねていくことで、幼児が小学生に対する親しみや憧れの気持ちを抱いたり、相手から自分のことを大切にされる喜びを感じたりすることで、**自分も人も大切にしようとする思いやりの気持ちを育む**ことを目的として、小学校の教員と連携を図りながら実践しています。

絵本の読み聞かせや触れ合い遊び・ダンスなどを行い、互いに心を通わせ、**笑顔がかがやく温かく優しい時間**を共有しています。

### 取組のPOINT

- ☑ 園児と5年生が**コミュニケーション**をとりながら交流を楽しめるようにする。
- ☑ 回を重ねるごとに親しくなり、小学校の休み時間に5年生が幼稚園に遊びに来るなど、こどもたちが**主体的に交流する姿**が日常的に見られるようになり、関係性が深まっている。

### 取組の様子

「お兄さん・お姉さん  
大好き！！」  
「また、一緒に遊ぼうね」



# 南陽幼稚園

## 初！3学年みんなの運動会

### 取組内容

令和2年度から始まった3歳児保育。今年度は本園初の3学年みんなでの運動会！それぞれの学年が、実態に応じて、内容や取組方法を工夫し、一人一人がかがやく運動会になりました。

隣接する南陽小学校の校庭で、3歳児年少組は、みんなで一緒に踊ったり、かけっこしたりする楽しみました。4歳児年中組は、伸び伸びと体を動かして楽しみ、5歳児年長児の取組に刺激を受け、事後も模倣して踊ったり、リレーをしたりして遊びました。5歳児年長組は、自分たちで会を進めよう、と、競技以外でも自己有用感や自己肯定感を育みました。事後の活動では、年少・年中児との関わりに積極的に取組み、年下の子を思いやる優しい気持ちが育まれました。

### 取組のPOINT

- ☑ みんなで取り組み、みんなが楽しむ運動会。
- ☑ 一人一人が自分の力を思いきり発揮する。
- ☑ 日常の異学年の関わりから、行事を通して更に「やさしい子」の実現。

### 取組の様子

事後の活動より

「年長組さん

かっこいい！」



# つばめ幼稚園

みんなで感じ考える「多様なアオムシ」

## 取組内容

年長組は、よく木に登ってアオムシを見付け、チョウになるまでの世話を何度も繰り返しています。10月頃、A児が、同じ緑色でも形や動きが違うアオムシを発見。見付けるたびに名前を付け、飼育ケースに入れ、虫にとって快適な部屋にしようと、これまでの経験から考えます。そして、少しの変化にも喜び、「見て！」と園中に伝えるA児の姿は気付きの輪を広げます。「このアオムシたちはどのように変化するのか」学級のみならず、みんなもわくわく楽しみになってきます。

ある日、サナギが「ガ」になっていました。「チョウ」ではありませんが、変身した姿に子どもたちは大喜び。小さな虫に好奇心をもちつつ、命を守ろうとする子どもたちの姿が、温かい学級の雰囲気をつくっています。

## 取組のPOINT

- ☑ 多様な生き物との出会いから、自然への愛着が感じられるように。一人一人の気付きや喜びを、学級の友達と共有するための自然コミュニティの場を構成。
- ☑ なぜだろう！おもしろい！伝えたい！という、わくわくする子どもたちの姿を引き出す応答的プロセス。
- ☑ 教師が自然への畏敬の念をもつ感性・感覚も環境。

## 取組の様子

自然との関わりを通して、「みんなが つながる ようちえん」となるように。



# 元加賀幼稚園

みんなかがやけ！1チーム運動会リズムの取組

## 取組内容

- ・10月7日(土)に運動会を行いました。今年度は「みんなかがやけ！ 1チーム」をテーマとし、園児一人一人が力を発揮し、どの子もかがやけるように工夫しました。
- ・年長5歳児のリズムでは、地域のお祭りが6年ぶりに復活し賑わいを見せたことを取り入れ、保護者と一緒に作ったおみこしを担いで入場したり、幼児が主体的に取り組めるよう、グループの友達と振りつけを考えたりしました。また、ICT機器を活用し、自分や友達の姿を見せることで、「もっと手を伸ばしたほうが、カッコいい」「○○ちゃんの動きが素敵」等、客観的に、自分を振り返り、もっと良くしようとする姿や友達を認め合う姿が見られました。

## 取組のPOINT

- ☑園内研のテーマを「一人一人が輝く幼稚園を目指して～環境の構成と教師の援助～」とし、一人一人がかがやけるよう職員全体で幼児理解の推進を図っている。
- ☑振付を考える、司会、係に取り組む等自分たちで進めていることを実感し主体的に取り組めるような工夫。
- ☑過程を見てもらえるよう「うんどうウィーク」を設置。幼児だけでなく、保護者・地域を巻き込んだ取組。

## 取組の様子

当日たくさんのお客様の前でのびのびと演技をし、笑顔溢れる運動会となりました。



# 豊洲幼稚園

## 親子で歩こう！ げんきもりもりカード

### 取組内容

親子で歩くことの楽しさ、歩くことの大切さを感じ、体を動かす心地よさを味わうとともに、主体的に体を動かすきっかけになってほしいと願って取り組んだ活動です。

見付けたり、挑戦したりしてほしい内容をビンゴカードのようにして、毎日首から下げ、歩いて登降園します。月1回の「歩こうデー」は全員の親子が取り組めるようにしました。

10月には4・5歳が「辰巳の森緑道公園」まで歩いて遠足に出掛けました。往復4.5kmの道のりを、歌ったり、話したりと、歩くことを楽しむ姿が見られました。帰園の際は、笑顔の幼児、疲れたけれど、最後まで歩こうとする幼児など、様々でしたが、全員が最後まで諦めず歩いていました。遠い道のりを歩き切った経験が幼児の自信に繋がり、園での運動遊びにも喜んで参加する幼児が増えています。

### 取組のPOINT

- 登降園時に親子で歩くことを楽しめるよう、次のような環境や機会の工夫を行った。
  - ☑毎月内容の変わるカードの準備
  - ☑スタンプやシールによって達成感や満足感をもてるようにする。
- その結果、
- ・歩いて登園する親子や歩くことを楽しむ親子が増え、保護者が歩くことよさや大切さに改めて気付けた。
  - ・往復4.5kmの遠足も楽しく歩きました！
  - ・体を動かす遊びに繰り返し取り組む幼児が多くなった。

### 取組の様子



辰巳の森公園まで  
歩いて行きました！

# 枝川幼稚園

## 年中・年長の交流

### 取組内容

少人数、単学級の園であるため、年中・年長の交流活動を増やし、人との関わりが広がるようにしています。

#### ○なかよしタイム

行事での集まりやゲームなどを年中・年長一緒に行う時間を定期的につくっています。

#### ○担任の交換

担任を交換し、絵本の読み聞かせやゲームなどを楽しみ、いろいろな人と関わる時間をもっています。

#### ○遊びの中での交流

各学級で行う遊びに招待し合ったり、普段の遊びの中でも一緒に遊べる環境をつくったりしています。

### 取組のPOINT

- ☑ いろいろな先生や友達と一緒に活動することで、人と関わる楽しさを感じられるようにする。
- ☑ 一緒に楽しい経験を積み重ねることで、親しみを感じたり、「あこがれ」や「思いやり」の気持ちをもつようになり、互いのしていることに関心をもったり、遊びに誘ったりする姿が増えた。

### 取組の様子

いろいろな先生や友達とつながることで、たくさんの笑顔が生まれました。



# 辰巳幼稚園

## 5年生との交流

### 取組内容

特色ある教育活動として、併設の辰巳小学校との交流活動を行っています。中でも5年生とは、年間を通じて交流をすることで、小学生への憧れの気持ちや就学への期待が高まるようにしています。

年間の計画として行っている、幼稚園の運動会前に走り方を教えてもらう、絵本の読み聞かせをしてもらう、昼休みに一緒に遊ぶ等の活動の他に、今年度は幼児の遊びや生活の中から発生した活動に5年生に関わってもらう機会も設けています。年長児のお店屋さんごっこでお客さんになってもらったり、運動会のリズムを見に来てもらったりして、5年生が楽しんでくれる様子を見て喜ぶ姿が見られました。

### 取組のPOINT

- ☑ 年度当初に交流の時期や内容について小学校教員と打ち合わせを行い、計画的に実施。
- ☑ 保育の状況に合わせて、臨機応変に交流できる機会を設ける。
- ☑ 親しみの気持ちを持ち、交流が深まるよう、基本的に同じ相手とかかわりを積み重ねる。

### 取組の様子

5年生にお客さんになってもらったことが嬉しくて、大満足のこどもたち。





# ちどり幼稚園

畑をつくろう！ 野菜をつくろう！  
食べよう！ おすそ分けしよう！

## 取組内容

4月、年長すみれ組が、「どのような野菜を育てたいか」について、学級全体で話し合いをもちました。こどもたちから出てきたのは、トマト、ナスなどの定番野菜のほか、トウモロコシ、ゴマ、落花生・・・など、20種類を超える野菜でした。「これでは植える場所が足りない！」という課題が生じましたが、「じゃあ、もっと畑をつくればいいよ！」ということで、畑を増やすことから始めました。

ゴマや落花生の育ち方に驚き、様々な野菜を収穫する度に会食でおいしくいただき、たくさん心を動かされる体験をしました。トウモロコシはポップコーンにして、映画を見ながら食べました！

地域の方にも、収穫した野菜をお届けに行きました。

## 取組のPOINT

- ☑ こどもたちが「やりたい」と思ったことを尊重し、その実現のために、保育者は仲間の一員としてバックアップ。
- ☑ 「やればできる！」という実感を積み重ねることで、自分自身への可能性を感じ、自己肯定感もUP！

## 取組の様子

「畑がもう一つできた！」  
「ゴマまで、できた！」  
「私たちって、すごい！」



畑の2倍化作戦

たくさん  
とれた  
ゴマ



春菊の収穫



町会長さんに小松菜をお届け

# ひばり幼稚園

## インターナショナルデー

### 取組内容

本園の近隣には東京国際交流館があり、毎年、留学生のお子さんが本園に通っています。この特色を生かし、外国で生まれたり生活したりしたことのある保護者や留学生の方々にご協力いただき、ルーツのある国について子どもたちに紹介していただく会がインターナショナルデーです。

子どもたちは、紹介していただいた国のあいさつや食べ物、日本との距離などの他に、現地の子どもたちが普段楽しんでいる遊びを教えてもらうこともあります。

実際に挨拶をしたり体を動かして遊んだりする等の体験を通して、その国に親しみを感じることができます。

### 取組のPOINT

- ☑ 異国の文化に興味や関心をもち、言葉や遊びに親しむ機会となる。
- ☑ 外国籍の幼児は、友達が自国の文化を学ぶ姿を見ることで、園生活に安心感をもつことができる。
- ☑ 互いの違いを肯定的に受け止められるようになる。

### 取組の様子

令和5年度は、インドネシア・インド・中国の紹介をしていただきました。



# 第一亀戸幼稚園

土曜開催！「一緒に遊ぼう参観日」

## 取組内容

6月初旬、お家の人と一緒に幼稚園で遊ぶ日を設けました。土曜日に開催することで、普段幼稚園に来られない方に園での様子を見ていただいたり、一緒に活動していただいたりしながら、幼稚園の教育内容を知っていただく機会としました。

講師を招いた卓球教室、ボッチャコーナーやボールとミットを作って遊べるコーナーなどを設定し、好きな遊びを親子で選び、楽しく過ごすことができました。

また、普段の遊びをお家の人に見てもらい、自分の頑張っていることや楽しんでいることを褒めてもらうと、とても嬉しそうな笑顔がたくさん見られました。

## 取組のPOINT

- ☑ 事前にボッチャに取り組んでおき、ルールを保護者に教えてあげることで、自信にもつながる。
- ☑ 参観日後も卓球やボッチャ、ボール遊びを自分たちで繰り返し、わくわく度がUPする。
- ☑ 年数回の土曜保育で保護者に育ちを実感してもらう。

## 取組の様子

「卓球おもしろいね」「  
こうやって投げるんだよ」  
「本物みたい、すごいね」



# 第二亀戸幼稚園

## みんなが楽しい 「ハロウィンおばけやしき」

### 取組内容

年長組4名の幼児が作った「みんなが楽しいハロウィンおばけやしき」の実践です。

「怖いおばけやしき」を作るために必要な物を考えて、2日間かけて準備をしました。おばけになって驚かす役だけではなく、お客さんを案内する役、終わった人にお土産を渡す役など、自分たちで役割分担し、遊びを進めていきました。参加した年中児が怖がり過ぎる様子に気付くと仲間と相談し、翌日からはおばけが出すクイズをクリアしながら進む「難しいおばけやしき」に変わりました。そして最後は、年中児や未就園児親子など「みんなが楽しいハロウィンおばけやしき」を完成させました。

### 取組のPOINT

- ☑ 夢中になって遊び(主体的な活動)を楽しむ。
- ☑ 課題を解決するために、友達と考えを出し合いながら、活動を進めようとする姿が増えた。
- ☑ 教師は、幼児が主体的に遊びを楽しむための時間や物、場所を保障し、見守る。

### 取組の様子

「みんなが来てくれて楽しかったね！」「おばけやしき大成功！」



# 大島幼稚園

みんなで なかよく！  
みんなで たのしく！

## 取組内容

「少人数」「国際色豊か」という特色のある大島幼稚園では、学年の枠を超えて幼児同士の関わりが多くもてるような活動を行っています。

園外に出るときに年長児と年中児が手をつないで歩く  
会話を楽しみながら一緒にお弁当を食べる  
全園児が一緒に遊んで、遊びのルールを共通にする  
など

このような活動を通し、他学年の友達**の存在を意識し、互いに刺激を受け合いながら、一緒に遊ぶことを楽しむ**ようになっています。そして、「一緒に～しよう」と幼児同士で誘い合って「みんなで なかよく！」「みんなで たのしく！」遊んでいます。

## 取組のPOINT

- ☑ 年長児と年中児のペアを決め、相手の存在を意識しやすくする。
- ☑ 学級または全園児と一緒に遊ぶ機会を作り、ルールを共通にすることで自分たちから遊び始められるようにする。
- ☑ 一緒に遊んで楽しかったという幼児の気持ちに共感し、またやりたいという気持ちを高める。

## 取組の様子

繰り返し関わりを楽しむ中で「バナナ鬼しよう」と年中児から年長児を誘って遊び始める姿が増えています。



# 第三大島幼稚園

みんな、かがやく「ジャガイモパーティー」

## 取組内容

6月に年長組が育てたジャガイモを収穫しました。収穫したジャガイモをどのようにして食べるか子どもたちで相談すると、「カレーにしたい」「ポテトがいい」などの考えが出されました。そして、一番人気のフライドポテトにして食べることに決めました。年長組は、自分たちで作って、年中組を招待したいという思いがあり、ジャガイモを切る調理活動やパーティーの準備に取り組みました。

自分たちで相談して作ったフライドポテトを食べることができたことや年中組が喜んでくれたことが満足感につながりました。年中組も年長組の姿や関わりから憧れの気持ちをもつ様子が見られました。

## 取組のPOINT

- ☑ 今までは、食べ方を教師が提示することが多かったが、今回はジャガイモをどのようにして食べたいか、自分たちで考えられるようにした。
- ☑ 自分たちで調理をしたい、年中組にも食べてほしいと意欲をもって取り組む姿が見られた。
- ☑ 具体的な調理方法のイメージがもてるように、フライドポテトの写真を見せ考えられるようにした。

## 取組の様子

自分たちで育てたジャガイモで作ったフライドポテトの味は、最高でした！



# 第五砂町幼稚園

## みんなかがやく「夏祭り」

### 取組内容

毎年夏休み前にPTA主催で行われていた「夏祭り」。コロナ禍で人との接触を避けるため、ここ数年は人数制限や時間制限をしながら行ってきました。

今年は制限もなく行うことができ、こどもも、保護者も、そして地域の方もかがやく「夏祭り」となりました。

「ワニワニパニック」や「さかなつり」などの、ゲームのコーナーは、保護者の係の方が中心となって進めていただきました。「夏祭り」の最後は、盆踊り。地域の太鼓の会の和太鼓と、婦人会の方々の踊りで、会場を盛り上げてくれていました。久々にこどもたちと触れ合いながら笑顔を見ることができてよかったと、とても喜んでいただけました。

### 取組のPOINT

- ☑ 久々の開催となるため、PTAと連携と取り、入念な打ち合わせ。
- ☑ 事前に「盆踊りの会」を実施し、婦人会の方に踊りを教えに来ていただき、こどもたちが盆踊りや婦人会の方に親しみをもてるようにした。
- ☑ 当日の様子をHPで発信し、地域の中の幼稚園であることをアピール。その後未就園児向けの夏祭りも実施。

### 取組の様子

幼児  
「楽しかった。またお祭り行きたい！」  
地域の皆様  
「私達も元気をもらいました」  
保護者  
「みんなが喜んでくれてよかったです」



# 東砂幼稚園

## おいしい！楽しい！「農園活動」

### 取組内容

毎年、幼稚園の隣にある農園で様々な野菜を栽培しています。今年は「とってもあまいサツマイモを食べたい！」と考えた年長組が話し合い、品種を調べて大切に育ててきました。10月にはたくさんのサツマイモを収穫することができ、どこで、誰と、どのように食べようかと考えを出し合いました。こうして開いた「おいもパーティー」では、会場の飾りを協力して作ったり、招待する年中組のこどもたちの席を準備したりして、一人一人が主体的に取り組む姿が見られました。また年中組や教職員を招待して、喜んでもらえるうれしさや自分たちでできた、という満足感を味わうことができました。

### 取組のPOINT

- ☑ 品種で味の違いがあるのかな？幼児と一緒にタブレットで調べ、植えるサツマイモを決めました。
- ☑ 日々の世話を通して、サツマイモの生長を感じたり天候や土の状態への関心が高まったりしました。
- ☑ どうやったら喜んでくれるかな？様々な意見を出し合い、おいもパーティーを行うことができました。

### 取組の様子

おいもパーティーをして、ひよこ組さんに喜んでもらえて、よかった。





# なでしこ幼稚園

## 自然にたっぷり触れる

～なでしこの森での活動～

### 取組内容

- なでしこ幼稚園の前には北砂五丁目団地憩いの森(通称:なでしこの森)があります。地域の環境を生かして自然にたっぷり触れる体験を積み重ねられるように毎月「森の日」を決めて活動をしています。
- 発見！テントウムシの幼虫、セミ、バッタ、キノコ、ドングリ、四つ葉のクローバー、おもしろい木の枝、根等小さな虫や植物との出会い。
- 感じる！爽やかな風、ふわふわのコケ、少しずつ秋の色になっていく木々。
- 自然の中で遊ぶとわくわくする！リレー、だるまさんが転んだ、かくれんぼなど。

### 取組のPOINT

- ☑ 時期を逃さないように森に出かけ、幼児の気持ちに気付き、寄り添い、幼児の言動を受け止める。
- ☑ 教師自身が自然の面白さを感じ、驚きや発見を幼児と共感することを大切にする。
- ☑ 森で見つけたものを持ち帰り保育室に掲示したり、興味・関心が継続するような環境や援助の工夫を行ったりする。

### 取組の様子



# みどり幼稚園

みんな、かがやく【サツマイモパーティー】

## 取組内容



10月下旬、自然豊かな園庭で、年長児が栽培したサツマイモを収穫をしました。様々な形や重さのサツマイモを数えると、全部で59個！

年長児は皆で相談し、「サツマイモパーティー」を企画することにしました。幼稚園に関わる人の人数を数え、サツマイモが足りるのかを考えたり、チケットやパーティワゴン、装飾等、必要なものを考えたりし、数日かけて準備をしました。

パーティ当日、年長児が受付係や案内係となり、年中児を席へ案内したり、お茶を配ったりしました。

サツマイモの美味しさと年長児の自信や成長に、年長児も、年中児も、未就園児も、教師もみんな笑顔になりました。

## 取組のPOINT

- ☑自然豊かな園庭の環境を生かし、栽培・収穫したものを食べる喜びを味わいました。
- ☑教師はファシリテーターに専念し、年長児が主体となり、「サツマイモパーティ」を企画・準備・運営をしました。
- ☑「サツマイモパーティ」の過程や学びを、保護者や地域、未就園児にHPや学級だよりで知らせました。

## 取組の様子



「とっても美味しいね♪」  
「年長組さんありがとう」  
みんな、かがやく笑顔に

